

平成31年度(令和元年) 教職員による学校評価

全体

県立名護特別支援学校

幼小:20 中:20 高:37 他:14 合計:82名/91名中 回収率:90.1%

No	評価項目	具体的評価項目	良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答	回収率	90.1	%	
1	学校教育目標	学校教育目標の具現化へ向け教職員が一体となって取り組んでいるか。	38	40	4	0	0	良い 46%	良い 49%	不十分 5%	無回答 0%
2	教育課程	教育課程は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	52	28	2	0	0	良い 63%	良い 34%	不十分 2%	無回答 0%
3	年間指導計画	年間指導計画は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	46	34	2	0	0	良い 56%	良い 41%	不十分 2%	無回答 0%
4	個別の教育支援計画	個別の教育支援計画は、保護者や関係機関等と十分連携が図られ設定されているか。	47	35	0	0	0	良い 57%	良い 43%	不十分 0%	無回答 0%
5	個別の指導計画	個別の指導計画は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	51	29	2	0	0	良い 62%	良い 35%	不十分 2%	無回答 0%
6	教育計画	幼児児童生徒の実態等に即し、目標や支援方法等に関して、学部や学年会・教科会・ケース会議等において教育計画が十分話し合われているか。	47	28	6	1	0	良い 57%	良い 34%	不十分 7%	無回答 0%
7	指導体制	学年や学習グループ等で教材研究や指導法等を共通理解し、連携を図りながら授業に臨んでいるか。	51	28	3	0	0	良い 62%	良い 34%	不十分 4%	無回答 0%
8	学習指導	幼児児童生徒の実態に応じた教材教具等を工夫し、分かりやすい授業展開をしているか。	45	40	3	0	0	良い 51%	良い 45%	不十分 3%	無回答 0%
9	家庭との連携	保護者等に対し、幼児児童生徒のニーズ等を捉え連携を図り、説明責任を果たす等の対応がなされているか。	49	29	4	0	0	良い 60%	良い 35%	不十分 5%	無回答 0%
10	関係機関との連携	関係機関等に対し、幼児児童生徒の実態やニーズ等を捉え連携を図っているか。	41	38	3	0	0	良い 50%	良い 46%	不十分 4%	無回答 0%
11	交流教育及び共同学習	保護者との協力のもと、学校間交流や居住地校交流等を推進しているか。	41	33	7	1	0	良い 50%	良い 40%	不十分 9%	無回答 0%
12	就学指導(支援)及びセンター校的役割	校内及び地域のセンター校的役割を担い、就学指導(支援)や教育相談の充実に努めているか。	40	39	3	0	0	良い 48%	良い 48%	不十分 4%	無回答 0%

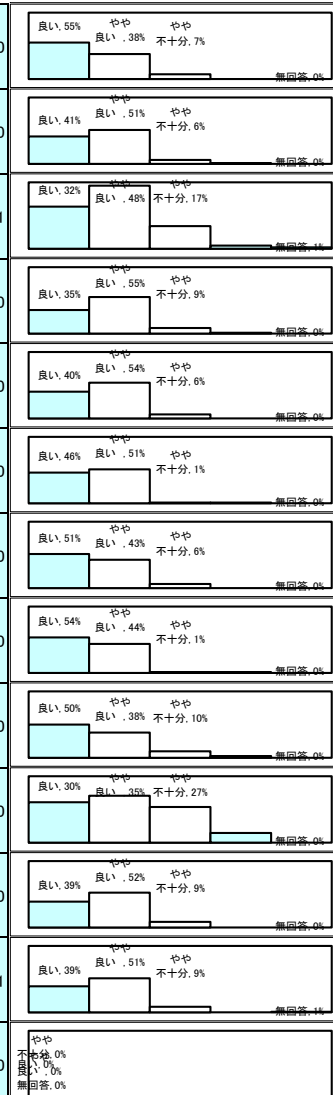
平成31年度(令和元年) 教職員による学校評価

全体

県立名護特別支援学校

幼小:20 中:20 高:37 他:14 合計:82名/91名中 回収率:90.1%

項目	評価内容	良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答
13	進路指導 卒業後に向けた課題意識や就業体験等適切に取り組まれているか。	45	31	6	0	0
14	校内研修 計画的に取り組まれ、職員の専門性や指導力の向上が図られているか。	34	42	5	1	0
15	自立活動 自立活動に関する専門的知識の共通理解や教育実践が行われているか。	26	39	14	2	1
16	校務分掌 適材適所に配置され、機能化された運用がなされているか。	29	45	7	1	0
17	職員会議等 職員会議等の諸会議は、学校運営や学部運営等を共通理解し、効率的に機能しているか。	33	44	5	0	0
18	緊急・救急体制 非常時及び緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制になっているか。	38	42	1	1	0
19	健康・安全・給食 幼児児童生徒の健康・安全・給食指導に関して、各部署と連携を図りながら十分配慮された取り組みがされているか。	42	35	5	0	0
20	教育環境 校内緑化や危険箇所のチェック、職員の対応等、教育環境が充実しているか。	44	36	1	1	0
21	職場環境 教育上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気職場になっているか。	41	31	8	2	0
22	施設・設備 教育活動に必要な施設・設備は充実しているか。	25	29	22	6	0
23	PTA活動 保護者と職員が協力し、充実したPTA活動として取り組まれているか。	32	43	7	0	0
24	職員間の連携 各学部や部署の連携が図られ、一貫性のある取り組みがされているか。	32	42	7	0	1
		0	0	0	0	0



平成31年度(令和元年) 教職員による学校評価

全体

県立名護特別支援学校

幼小:20 中:20 高:37 他:14 合計:82名/91名中 回収率:90.1%

学校全体コメント

- 全ての項目において「良い」「やや良い」が多数を占めており、概ね学校運営がうまくいっている。
- 5障害種対応の学校として、具体的に何が必要で、何から改善していくのか全体で考えていく。しかし、5障害種対応の教育課程編成や施設面を考慮して、県でも検討して行く見通しを立てている。
- 校内研修のあり方は、研修部を中心に内容と回数等を考慮しつつ、全体、学部、個人研修に還元できるように進めて行く。
- 学校給食は安心安全な提供を心がけています。量や質に関して給食係、栄養士を中心として課題解決に向け取り組んでいく。
- 教師間の連携、会議等のあり方について、教育公務員としての使命感を持ちつつ個々の職員が、子どもたちのために何ができるか、どう協働で運営していけるのか自信と責任を持って勤めてください。

(感想・意見)

- ① 5障害種に対応できていない。備品教材が非常に少ない。5障害種に対応した施設設備が不十分
- ② 校内研修(少ないように感じる)⇒学部での検討会や学習会があってもよいのでは？
- ③ 施設整備:・スクールバス不足。・教室が狭い、足りない。・教室不足。・体育館に更衣室がない。
- ④ 給食の配膳ミスが多く、給食が少なかった(児童生徒の必要量を再度検討してほしい。)
- ⑤ 経験の浅い職員への連携の具体等のアドバイスが足りない(研修等の実施)
立場の弱い職員の意見が出しにくい(目安箱の設置)
学校全体で教室配置の再検討をする必要があるのでは。